SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本タクシー株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念として、ミッション：私たちは移動するすべての人に信頼される「足」である。ビジョン：お客様に一番に選ばれよう。バリュー：常識にとらわれず進化します。を制定し共有、実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		運輸安全マネジメント制度に10年以上取り組み、その一環として法令遵守の重要性を周知徹底している																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、不公正競争禁止を就業規則に明文化している										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		介護・福祉輸送が地域でも大きなシェアを占めており、また、緊急搬送の運行など必要不可欠な輸送も担うことから、公共交通の一員であることを自覚し、使命感を持って事業経営を行っている																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		商標、著作権等保護を遵守している（自社商標は1件申請中）								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		プライバシーポリシー（個人情報の保護について）を制定し、取り組んでいる																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		クマポンモニターアンケートシステム、配車アプリお客様の声、SNS（ツイッター）など、お客様からの意見を収集する仕組みを充実させており、またこれらの情報を社内で共有するとともに、委員会や会議等で対応している																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	コロナ対策BCPを策定済である 【予定】災害BCPを今年度中に策定予定している									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用条件および職場環境において差別しない体制を構築することについて、就業規則で明文化している 特に高齢者や障がい者の雇用については、平成30年度障がい者雇用優良事業所　県知事表彰を受賞している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		運輸安全マネジメント活動の一環として、事故防止、交通法令遵守について管掌する運輸安全委員会、従業者の健康安全や環境を管掌する安全衛生委員会を毎月開催している			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行い、パート社員の正社員転換も本人の希望による場合は柔軟に実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		従業員の時間管理は点呼システムやタイムカードシステムで管理するなど、ITを最大限活用している。業務効率化のためのDXも推進している 社内はもちろん、社外の社会一般の家庭と仕事の両立の一助となるべく保育園を運営している			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		各種資格の取得支援を行うキャリアパス制度、キャリアアップ制度、各人の成長を促す人事評価制度システムを設けている				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営を運輸安全マネジメントと共に当社の経営の柱としている ヘルスター★認定（協会けんぽ熊本支部）を受けている			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		令和3年　国土交通省/厚生労働省認定　運転者職場環境良好度認証（働きやすい職場認証制度） 国土交通省認定　女性ドライバー応援企業 等の認定資格を取得し、実践している				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	タクシー車両、保育園、店舗等に各種の感染症対策（飛沫防止ボード、アルコール、清掃等）を行い、事務所内でもソーシャルディスタンスや、時差出勤、ZOOM会議を導入している			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	ビジネスチャット、イントラネットシステムなど社内のDX化と、AIタクシー、タッチパネル式決済機、タクシースマホアプリ、デジタル無線CTIシステム等最先端のデジタル機器の導入により業務の効率化、利便性の向上に取り組んでいる								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	令和元年度熊本県ブライト企業認定（2期目）されている			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本タクシー株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		環境方針、及び重点推進項目を定め、実践している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		二酸化炭素排出量（事業用車両のみ） H30.1-12 1,744,468（kg-CO2）→H31.1-R1.12 1,644,387（kg-CO2） 対前年94.3%となり、 また、令和2年4月～3年3月の全社（全部門）の原油換算エネルギー使用量は1466klであった タクシー車両として、ハイブリッド、トリプルハイブリッド（電気、ガソリンに加え更に環境負荷が少ないと言われるLPGを燃料とする）車両の導入を進めている							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		平成18年より、国土交通省及び財団法人交通エコロジーモビリティ財団（エコモ財団）によるグリーン経営（ 環境負荷の少ない運輸事業運営）認証をうけ、現在も継続して環境について取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		お手水の森の運営管理をとおして自然生態系の保全に努めている 田迎営業所車庫前の花壇を整備している						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		ゴミの分別、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進するとともに、廃車の安全に使用できる部品、部材の再利用などに取り組んでいる									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本水遺産「お手水」及びその周辺の景観管理や、節水利用やくまもと水検定の取得奨励などを行っている。また、令和2年　くまもと地下水保全財団　地下水保全ブロンズ企業認定されている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		熊本の水資源を啓発する観光ツアーの開発、商品化している 【予定】お手水の森の利用のお客様に対する水資源の重要性を啓発する学びのアトラクションの企画を今年度中に実施予定している									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	お手水の森の飲食部門にて、豊富な湧水を利用しニジマスの育成を行い、食品ロス削減に取り組んでいる	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	お手水の森の運営管理をとおして自然生態系の保全に努めている 田迎営業所車庫前の花壇を整備している											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	太陽光発電所2ケ所運営している							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	敷地約3千坪の熊本市西区花園「お手水の森」の保全、管理している						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	タクシー車両として、ハイブリッド、トリプルハイブリッド（電気、ガソリンに加え更に環境負荷が少ないと言われるLPGを燃料とする）車両を半数以上導入している									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：熊本タクシー株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		専任の指導員らによる約1カ月にわたる新人研修をはじめ、毎月定期的に全員に対しての各種研修会、毎月の集合点呼など、各教育研修を実施し、高品質を追求したサービス品質の向上をはかっている			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザインカー（トヨタJPNタクシーなど）は16台導入している。なお、タクシー全体でユニバーサルなサービスを提供し、すべての人の移動に対応するべく福祉車両を県下最大台数11台を導入している									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	熊本市交通空白地域解消のため乗合タクシーを運行している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		平成18年より、田迎校区、田迎南校区、御幸校区の各防犯協会のご協力のもと、毎日深夜帯に各校区を巡回する”防犯パトロール”活動を開始し継続して実施している（平成22年熊本南地区防犯協会、熊本南警察署より表彰）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		【予定】今年度中にBCP策定予定している				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	職場研修インターンシップ等職業訓練生の受け入れを積極的に行っている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。